

夫の家事は自分が思うほど妻の評価を得られていない!? ～共働きママの時間意識～

東京ガス株式会社都市生活研究所は、子育てファミリーを対象とした調査を実施し、都市生活レポート『共働きママの時間意識～フルタイムで働く子育てママは、時間をお金で買いたい～』を発行いたしました。その中から一部をご紹介します。

フルタイム同士の共働き夫婦でも、家事・育児は妻に偏っている

表1の通り、妻の働き方によって子育てファミリーをタイプ分けしたところ、平日の家事・育児時間は、ママ全体の平均が4.8時間であるのに対して、正規で週30時間以上働いている「フル共働きママ」も4.1時間と長く、0.7時間しか変わりませんでした。（図1）

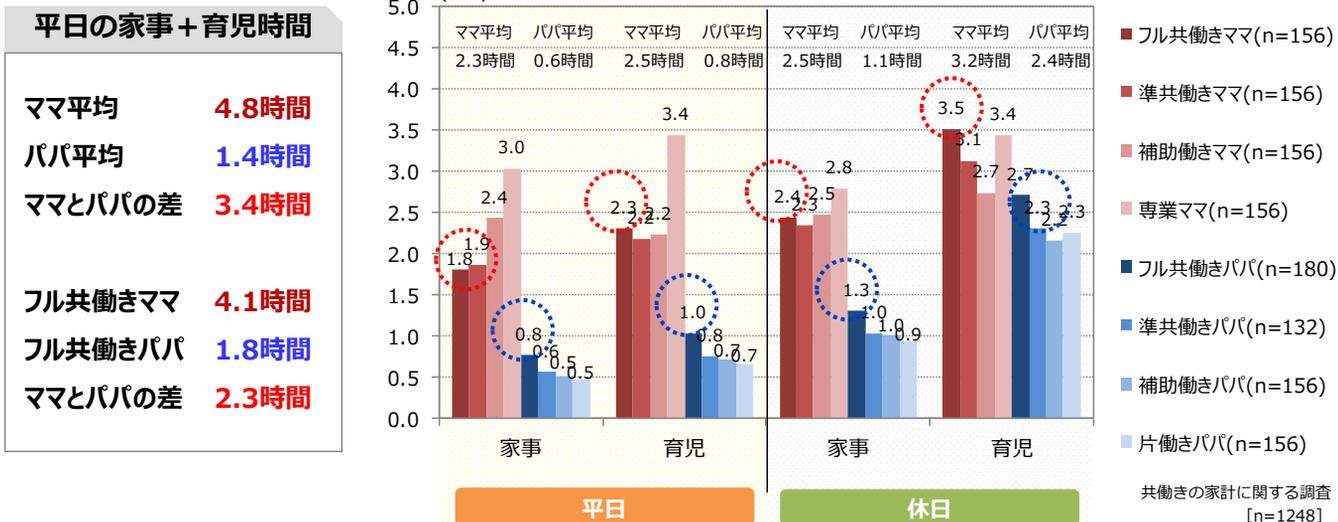
パパ全体の平均が1.4時間であるのに対して、妻が正規で週30時間以上働いている「フル共働きパパ」は1.8時間で、4タイプのパパの中では最も長いものの、0.4時間しか差はありませんでした。

また、「フル共働きママ」と「フル共働きパパ」を比べると、差は2.3時間あり、フル共働きでも家事・育児は妻に偏っていることが分かりました。

表1. 妻の働き方によるタイプ分け

フル共働きママ	: 正規で週30時間以上就労	フル共働きパパ	: 妻が正規で週30時間以上就労
準共働きママ	: 非正規で週30時間以上就労	準共働きパパ	: 妻が非正規で週30時間以上就労
補助働きママ	: 非正規で週30時間未満就労	補助働きパパ	: 妻が非正規で週30時間未満就労
専業ママ	: 専業主婦	専業パパ	: 妻が専業主婦
※夫はすべて週30時間以上就労の被雇用者			

図1. 平日・休日の家事・育児時間

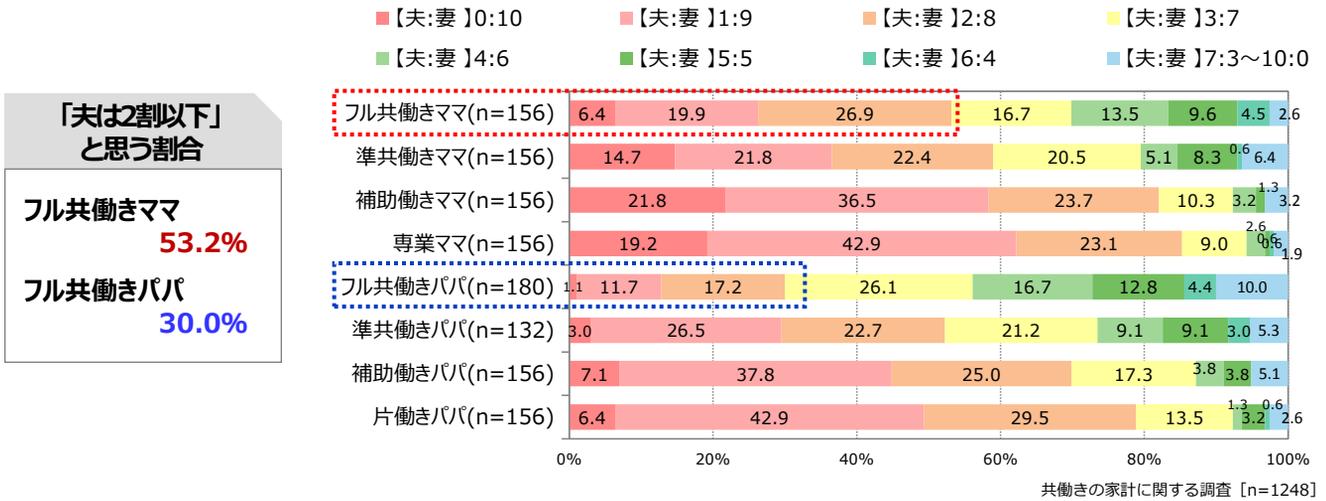


夫の家事分担に対する妻の評価は低い

家事分担比率を聞いたところ、夫の家事は、自分が思うほど妻の評価を得られていないようです。（図2）

4タイプの中では最も夫の比率が高い「フル共働き」ですが、フル共働きパパでは「自分は2割以下」と考える人は3割であるのに対し、「夫は2割以下」と考えるフル共働きママは5割以上でした。フルタイムで働きながら家事・育児をこなしているフル共働きママから見ると、夫の家事分担はまだまだなようです。

図2. 夫と妻の家事分担比率

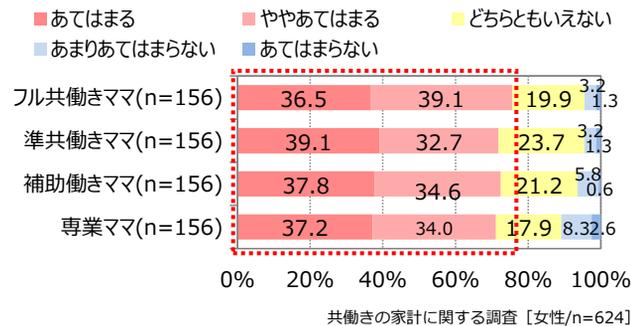


ひとりの時間が欲しいママたち

7割以上のママは「ひとりの時間が欲しい」と思っており、働き方による違いはみられませんでした。（図3）

仕事・家事・育児に追われ、自分の時間が持てていないと感じているママが多いようです。

図3. ひとりで過ごす時間がほしい



フル共働きママは子供ともっと過ごしたい

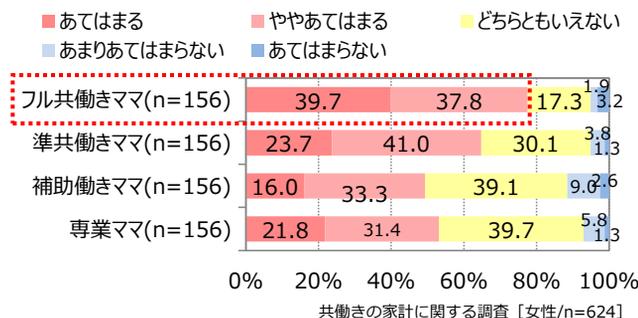
「子供と過ごす時間を増やしたい」と考えるかどうかは、働き方によって違いがみられました。（図4）

専業ママは、半数程度しか子供と過ごす時間を増やしたいと考えていません。

しかし、共働きママは子供と過ごす時間を増やしたいと考えており、特にフル共働きママは8割近くが子供と過ごす時間を増やしたいと考えています。

子供と十分に接する時間が持てていないと感じているフル共働きママが多いようです。

図4. 子供と過ごす時間を増やしたい



時間をお金で買いたいフル共働きママ

フル共働きママは「時間をお金で買いたいと思うことがある」「家事を効率化するモノやサービスにはお金を惜しまない」と答えた割合が他のタイプよりも高く、お金をかけてでも時間を生み出したいと考えていることがわかりました。(図5、図6)

図5. 時間をお金で買いたいと思うことがある

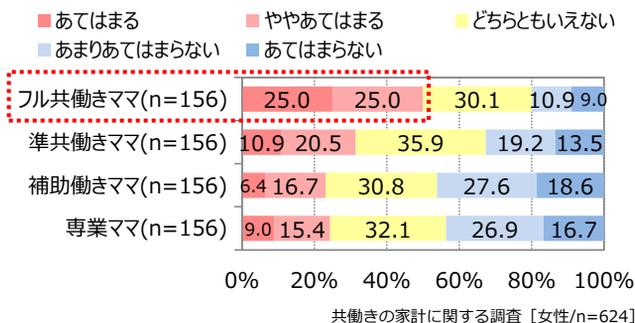
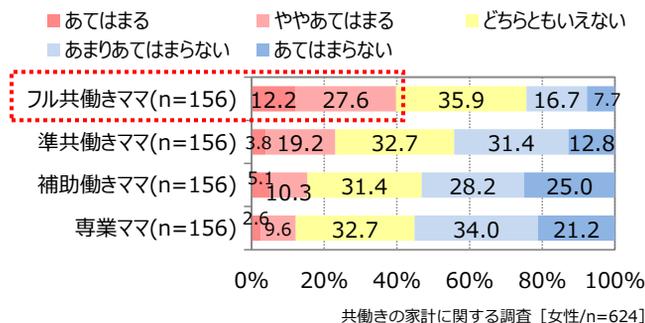


図6. 家事を効率化するモノやサービスにはお金を惜しまない



時短クッキングで、「ひとりの時間」や「子供と過ごす時間」を増やそう！

ひとりの時間が欲しいママや、子供と過ごす時間を増やしたいママには、時短クッキング「ラ・クチーナ・エスプレッサ」がおすすめです。これは家事に仕事に忙しいイタリアンママに学ぶ、ガスコンロの3口とグリルを同時に使って「20分で4品」を段取りよく作る調理スタイルです。時短調理で生まれた時間を、家族や自分のために使ってください。

この時短クッキングは、各地の東京ガス料理教室で実際に習うことができます。ママだけでなくパパも是非ご参加ください。料理教室には男性向けや初心者向けのコースもあるので、料理はちょっと・・・というパパも是非チェックしてみてくださいね。

■時短クッキング「ラ・クチーナ・エスプレッサ」のポイント

- ①「旬の食材を使う」・・・シンプルな調理法でもおいしい！
- ②「段取りを考える」・・・無駄のない手順で作る
- ③「ガスコンロを使いこなす」・・・ガスコンロの3口とグリルを同時に活用
- ④「便利な調理器具を活用する」・・・時間と手間を節約
- ⑤「盛り付けにもひと工夫」・・・見た目の美しさも大切！



レシピはこちらから <https://home.tokyo-gas.co.jp/shoku/torikumi/cucina/index.html>

料理教室はこちらから <http://www.tg-cooking.jp/index.php>

調査概要

- 「共働きの家計に関する調査」
- ・調査時期：2017年1月
- ・調査方法：インターネット調査
- ・調査対象：一部三県在住 28-44歳(ゆる食世代～選食世代) 既婚男女 高校生以下の子あり 核家族 1248名

		世代	N	タイプ			世代	N	タイプ
女性	ゆる食 (28~34歳)		208	4タイプ 各52	男性	ゆる食 (28~34歳)	208	フル76 準28 補助52 片52	
	装食 (35~39歳)		208	4タイプ 各52		装食 (35~39歳)	208	4タイプ 各52	
	選食 (40~44歳)		208	4タイプ 各52		選食 (40~44歳)	208	4タイプ 各52	

世代(ゆる食・装食・選食)の定義は、都市生活レポート『食・世代Ⅱ～7世代ライフスタイルブック～』(2017年5月発行 <http://www.toshiken.com/report/life38.html>) および、都市生活レポート『食・世代～食による新しい世代の研究～』(2013年4月発行 <http://www.toshiken.com/report/life12.html>) をご参照ください。

都市生活レポート『共働きママの時間意識～フルタイムで働く子育てママは、時間をお金で買いたい～』は、東京ガス都市生活研究所ホームページからのダウンロードが可能です。 <http://www.toshiken.com/report/life46.html>